

# 県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

## 〔1〕おもな動き

【推計人口】 …… 4月

令和3年4月1日の推計人口 1,299,257人  
世帯数 559,423世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、  
世帯数：560,720世帯

### 1 推計人口

令和3年4月1日現在の推計人口は、1,299,257人で、前月(1,305,650)に比べ6,393人の減少となった。

市部では、佐世保市(△1,713)、長崎市(△1,459)、諫早市(△408)、島原市(△378)、五島市(△317)、対馬市(△275)、南島原市(△264)、壱岐市(△263)、雲仙市(△166)、平戸市(△139)、松浦市(△128)、大村市(△127)、西海市(△124)の13市で減少した。

郡部では、時津町(7)の1町で増加し、長与町(△229)、新上五島町(△166)、佐々町(△100)、川棚町(△72)、東彼杵町(△26)、波佐見町(△26)、小値賀町(△20)の7町で減少した。

自然動態は、出生数839人、死亡数1,645人で806人の減少、社会動態は、転入者数10,522人(県内転入を含む)、転出者16,109人(県内転出を含む)で、5,587人の減少となった。

### 2 世帯数

令和3年4月1日現在の世帯数は、559,423世帯で前月(559,724)に比べ301世帯の減少となった。

(注)

・異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…2月

1人当たり現金給与総額 248,185円  
対前月比 1.1%減少  
対前年同月比 2.7%減少

### 1 賃金

2月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は248,185円で、前月に比べ1.1%減少し、前年同月に比べ2.7%減少した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は245,762円で、前月に比べ1.6%減少し、前年同月に比べ3.0%減少した。

特別給与額は2,423円で、前年同月に比べ、791円増加した。

### 2 労働時間

2月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は138.4時間で、前月に比べ1.6%減少し、前年同月に比べ2.5%減少した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は127.7時間で前月に比べ1.9%減少し、前年同月に比べ2.6%減少した。

所定外労働時間数は10.7時間で、前月に比べ1.9%増加し、前年同月に比べ2.7%減少した。

### 3 雇用

2月の常用労働者数は219,313人で、前月に比べ0.2%減少し、前年同月に比べ0.1%増加した。

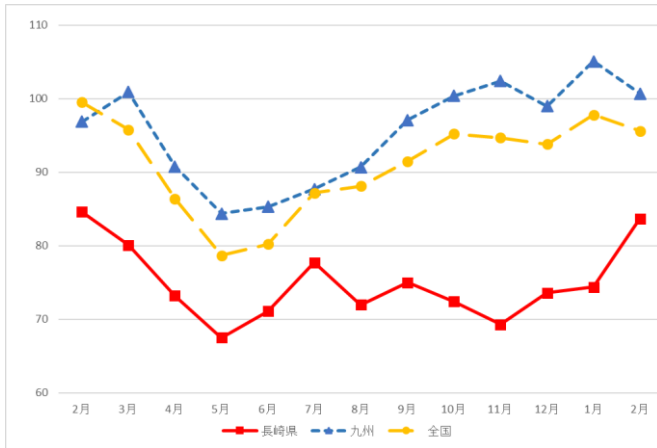
【鉱工業生産指数】…………… 2月

令和3年2月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整指数		原指数	前年同月比(%)
	指数	前月比(%)		
長崎県	83.7	12.5	72.7	△1.4
九州	100.7	△4.6	95.2	0.5
全国	95.6	△1.3	92.6	△2.0

鉱工業生産指数の推移【季節調整指数】



2021年2月の鉱工業生産指数は、季節調整指数が83.7で対前月比は12.5%の増、原指数は72.7で対前年同月比は1.4%の減となった。

業種別にみると、電子部品・デバイス工業、食料品工業、輸送機械工業など5業種が上昇し、はん用・生産用機械工業、電気機械工業、窯業・土石製品工業など8業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比(%)	上昇に寄与した主な品目
電子部品・デバイス工業	23.6	半導体集積回路
食料品工業	22.7	その他の調味料
輸送機械工業	4.2	修繕船

○主な低下業種

業種	前月比(%)	低下に寄与した主な品目
はん用・生産用機械工業	△28.3	ボイラの部品・付属品
電気機械工業	△23.3	開閉制御装置
窯業・土石製品工業	△3.6	生コンクリート

(注)前月比は季節調整指数の対前月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】…………… 3月

総合指数(H27=100)	103.7
対前月比(%)	+0.1
対前年同月比(%)	△0.1

令和3年3月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.7である。

前月比0.1%の上昇で、主な上昇要因は「教養娯楽」の+0.7%、「交通・通信」の+0.4%であり、主な下落要因は「諸雑費」の△0.3%、「家具・家事用品」の△0.7%である。

前年同月比は、令和2年11月は△0.5%、12月は△0.6%、令和3年1月は△0.2%、2月は△0.1%と推移した後、3月は△0.1%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.8であり、前月比は+0.2%であり、前年同月比は△0.2%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

教養娯楽	0.7%
光熱・水道	0.5%
交通・通信	0.4%
被服及び履物	0.4%
住居	0.1%

▽同水準の費目

保健医療	±0.0
教育	±0.0

▽下落した費目

家具・家事用品	△0.7%
諸雑費	△0.3%
食料	△0.1%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】…… 3月

消費支出(一世帯当たり)	289,270円
前月比	22,816円増(8.6%増)

令和3年3月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は289,270円で、前月比8.6%の増、前年同月比は4.4%の増であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は87.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。